

国語⇒伝えたいことを明確にして話すように指導することで、発表場面では成果が見られた。思いや考えを、文章で詳しく書き表すことに課題が残り、簡単な言葉や単語で書いてしまう姿が見られる。

社会⇒学習のまとめなどで自分の考えを表現する機会を設けることで、発信する力が付いた。グラフや地図などの資料の読み取りには課題が残った。

算数⇒習熟度別学習により、理解が深まった児童が多く見られた。掛け算、割り算の筆算などの基礎的な内容に課題のある児童がいる。基礎基本の学習の繰り返し学習が必要である。

理科⇒実験や観察を生かし、主体的に学習に取り組むことができたが、知識の定着には、課題が残った。

I 大田区学習効果測定の調査結果と概要

△：正答率の平均が目標値を上回った教科・観点

≒：正答率の平均が目標値と同程度の教科・観点

▼：正答率の平均が目標値を下回った教科・観点

教科	国語			社会			算数			理科		
全体	△			≒			△			▼		
観点別	△	△	△	≒	△	△	△	▼	△	▼	▼	≒
	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

1 教科全体

国語、算数では、正答率が目標値を上回った。昨年度は、国語以外は、目標値以下だったため、大幅な向上が見られた。国語・社会・算数の活用では、目標値をそれぞれ4ポイント以上上回る結果となっていることから、これまでの基礎学習を生かすことができるようになってきたことが考えられる。今年度も継続して、基礎を固め、中学校以降の学習にも生かせるようにしたい。

2 観点別

知識・理解の観点では、おおむね目標値を上回っている。半面、理系教科での思考・判断・表現で、大きく下回る結果となった。

II 教科ごとの授業改善プラン

1 国語・社会・算数・理科

【国語】

国語では、全観点で目標値を上回っている。特に文脈に沿った漢字の使用、説明文においての自分の考えをまとめること、指定された文章量で文を書くことでそれぞれ全国平均よりも約20ポイント上回っている。しかし、言葉の学習において敬語、和語、漢語等の知識・技能では、目標値を下回る結果となった。言語への理解を向上させるため、読書時間の確保、言葉の意味調べなどに重点を置いて活動していく必要がある。

【社会】

社会では、グラフを用いてまとめること、輸出入での外国との関わりについては目標値を8ポイント上回り、資料を活用した学習が身に付いていることが分かる。半面、国旗や領土の理解に関しては、目標値よりも大きく下回る結果となった。結果から、地理的な要素を踏まえた調べ学習を強化したり、基礎的な知識量が向上するように、ICTを使い発表や交流の場を増やしたりしていく必要がある。

【算数】

算数では、思考・判断・表現で目標値を下回った。特に小数の乗法の文章題での理解が平均よりも11ポイント下回った。学年の傾向的に、小数に対しての苦手意識をもつ児童が多く、得意としている児童との差が大きい。そのため、基礎基本的な問題を反復して解くことで、苦手意識を克服すること、文章題へ慣れさせる学習を行っていく。

【理科】

理科では、全体的に目標値を下回る結果となった。特に電流のはたらきでは、全ての設問で、目標値を下回っている。エネルギー領域での、実際に目に見えない部分の理解に難色を示す児童が多く、今後は、考察に一層時間を掛けることで、結果からどのようなことが考えられるか、しっかりと思考させることが必要である。その他、基礎的な知識に不足がある。重要な言葉や実験方法等、細かく反復指導を続けていく。

2 音楽・図工・家庭・体育・外国語

	児童の実態	おおむね良好：○ 改善が必要：△	授業改善プラン
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ●知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダー練習や、合唱にふさわしい歌声を意識して歌うことができる児童が多い。 ・コロナ禍でこれまでの練習時間が少なかったためか、リコーダーのタンギングが不十分な児童が多い。 ・個人差が大きく、苦手意識から支援がないと取り組めない児童も少なくない。 ●思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・習ったことを表現に生かそうとする態度は見られるが、自分で考えたり感じ取ったりすることには消極的である。 ・自分たちの演奏を更によくするための、音楽的な気付きができる児童が少ない。 ●主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・多くの児童が学年での合唱や合奏、器楽のミニテストなど、積極的に取り組むことができている、 	<p>○</p> <p>△</p> <p>△</p> <p>△</p> <p>△</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タンギングに特化した練習の機会を設ける ・個別の課題を用意し、苦手意識のある子にも成功体験をもたせる。 ・授業を通して音楽用語を使ったり、音楽的な言葉遣いを意識したりし、児童の練習時に生かせるようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ●知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・道具の正しい扱い方を身に付けようとしていたり、新しい技法を知り、すすんで取り入れようとしていたりする。しかし、個人差がある。 ●思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや思いを言葉で振り返ったり、表現したりすることが苦手な児童が多い。 ・友人の作品のよさを見付けられる児童は多いが、それを言葉で表現することが苦手な児童が多い。 ●主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・制作や鑑賞に対して、すすんで取り組む児童が多い。 	<p>○</p> <p>△</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発想が生かせるように、制作の手順やコツなどを事前に明確に示し、制作そのものでつまずかないように配慮する。 ・題材のめあてを意識し、それに沿った振り返りや鑑賞ができるようにする。鑑賞に適した語彙を提示する。 ・意欲を最後まで継続し取り組める題材を準備する。

家庭	<ul style="list-style-type: none"> ●知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科で学習したことを土台として家庭生活においても具体的に生かすことが大切であることに気付いた児童が多い。 ●思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・日頃の生活において、学習したことを活かした生活の工夫等の発展的活動までできている児童もいるが、活かせていない児童もいる。 ●主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことについて家庭生活中で具体的に実践し、喜びを味わえている児童が多く見られるようになっている。 	<p style="text-align: center;">○</p> <p style="text-align: center;">△</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の生活に生かせる学習内容・計画を立てる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ●知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・運動自体が苦手な子が多い。また、体の使い方が分からずに、苦戦する児童も多い。運動のポイントについての理解を深めることで、自分の課題を明確に捉えることができている。 ●思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・運動のポイントや仕組みを見付けさせたり、考えさせたりすることで、自分の課題を明確にし、「何を・どのように」練習すればよいか、考えることができている。自身を振り返り、的確に次回への目標や、必要な動きを考えることができる児童が見られた。 ●主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・運動に対する前向きな姿勢が見られるようになった。できないことをそのままにせず、必要なことを見つけ、友達と協力し合って取り組む姿が増えた。 	<p style="text-align: center;">△</p> <p style="text-align: center;">○</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身に付けた知識を生かし、運動と結び付けながら繰り返し運動させることが必要である。ねこちゃん体操を用いて、体の柔軟性を高めたり、運動に必要な基礎的な動きを身に付けさせたりする。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ●知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・単語や、文法など、正しく使える児童が多い。 ●思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや思いを言葉で振り返ったり、表現したりすることが苦手な児童が多い。 ●主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・学習した単語、文法を使い、積極的に使い友達と関わるができている。 	<p style="text-align: center;">○</p> <p style="text-align: center;">△</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自信をもって発表できる環境づくりや、ゲームなどを用いて、向上を図る。